



ごあいさつ

国内で初めての感染が確認されてから8カ月以上が経過しました。地域の行事や季節のイベントの多くが中止や縮小となり、経済や生活への影響が長期化するなか、市民の皆様から、様々な声が寄せられております。

感染症の収束が未だ見えず、今しばらくはコロナと共存しながらの新たな生活様式を続ける必要があるようですが、支援を求める方々への迅速な対応と、皆様に十分に届く対策を限られた地方財源と人材の中での的確に講じなければならない事を痛感しております。

9月23日より、第3回定例市議会が開催されています。この間の対策と補正予算の内容を検証し、これから迎える冬期間の対策とあわせて、もしもの複合災害も想定しながら「感染拡大から命を守ること」「社会経済的な影響から市民の暮らしを守ること」の両輪を軸に、次なる対策をしっかりと整えておくことが重要です。引き続き、市民の皆様の声をお聞きし、市政につなげてまいります。

札幌市議会議員 うるしはら直子



新型コロナウイルス相談窓口

新型コロナウイルスのご相談は…

TEL : 011-632-4567 (受付時間 毎日9時～21時)

感染の疑いのある方は…

TEL : #7119 または 011-272-7119 (24時間)

聴覚に障がいのある方や電話での相談が難しい方は…

FAX : 03-3595-2756 MAIL : corona-2020@mhlw.go.jp

新型コロナウイルス感染症に関する支援等の最新情報は…

札幌市 生活支援ガイド QRコード



オール札幌で
苦境を乗り越える!!

民主市民連合を代表して登壇

6月3日、第2回定例会市議会の代表質問に立ち、新型コロナウイルスで浮き彫りとなった課題や本市の課題11項目について市長などに質問しました。



財政運営



未執行の事業などの予算組替えや計画の抜本の見直しなどを行うとともに、緊急性を伴わない事業については減額補正し、コロナ対策に充てるべき。

秋元市長

市税収入等の減収が懸念される中、財政調整基金は一定程度の残高を確保しつつ、休止や時期の見直しが可能な事業の減額補正等も含めた予算組み替えを検討する。

今定例会で実践!

財政調整基金って何? 自治体が、災害や大雪など緊急の支出が生じた場合に備えて「貯金」として積み立てる基金。

災害時の情報伝達

(1)地域への情報伝達



災害発生時に、地域の被害状況などの災害情報を、いち早く伝えることが重要。現在、構築中の新防災支援システムで、地域の災害情報の伝達をどのように改善するのか。

秋元市長

新システムを活用し、地域の災害発生状況を一括して収集し、まちづくりセンターや、コミュニティFM局を通じて地域へ迅速な伝達をしていく。

「新防災支援システム」って? 気象や河川水位を監視して情報を複数の媒体へ一括発信できる機能のシステム構築を進めています。

(2)新しい避難所の考え方



早急に札幌市の避難所運営マニュアルを改定し、これまでと違う避難の考え方と適切な避難行動を市民に発信することが必要。

実現! 7月札幌市避難所運営マニュアルが改訂されました。各区への周知、ホームページと広報誌に掲載されています。



(3)障がいのある方に配慮を



市長記者会見で同時手話通訳や手話付き動画配信を4月から導入しているが、引き続き、同時字幕付き放送の導入などを検討すべき。

秋元市長

ICT(情報通信技術)を積極的に活用し、情報発信の強化に努め、より一層、障がいのある方がコミュニケーションしやすい環境を醸成していく。

実現! 7月から聴覚障がい者協会と連携して、UDトーク配信が開始されました。

新型コロナウイルス対応

医療・介護現場への対応等質疑

※詳細はこちら



児童虐待防止



2歳女児の尊い命が奪われた事件から1年。関係各所との連携をより緊密にし、要保護児童対策地域協議会を核とした取り組みを進めるべき。

秋元市長

職員の意識改革、専門性強化など関係機関を含めた体制を強化し、複数の目で見守るための支援体制・機能的強化、地域と連携した取り組みを進め、虐待防止対策を徹底していく。

札幌市の児童虐待通告状況 3月が51%増の157件、4月が25.6%増の147件と、前年より増加しています。

ケアラー・ヤングケアラー支援

総合的なケアラーへの支援の充実と、ヤングケアラーの実態把握調査を求める。

町田副市長

地域で支える意識醸成などに取り組む。関係部局が連携しヤングケアラーの課題認識と実態の調査を行い、適切な支援に努める

ヤングケアラー 本来大人が担う介護や兄弟の世話や家事負担などを、18歳未満の困難を抱える子どもなど。

保育人材の確保



コロナ禍で保育士等の負担が増加し、さらなる離職や担い手不足につながることを危惧している。今こそ市独自の手当を講じる必要がある。

町田副市長

保育人材の、就業継続の支援と新たな担い手確保の観点での取り組みが重要。コロナ禍での保育士の勤務実態や現場のニーズに関する調査を行い、必要な対応を速やかに検討する。

実現! 会派が強く要望した保育士等従事者への慰労金5万円支給が決定。政令市初!

その他の質問

- 文化芸術事業の推進 ●指定管理者制度での雇用維持
- 障がい福祉サービス事業所等への支援
- 休校に伴う学習支援 ●教員の長時間労働の解消

第3回定例会市議会 札幌市補正予算

対策第5弾

- 必要な医療の提供と感染拡大の防止【68億円】
- 事業の継続と雇用の維持、生活を支えるために【372億円】
- 経済活動の回復のために【30億円】

第3回定例会市議会では新型コロナウイルス感染症対策を速やかに進めるため、緊急対策第5弾となる、補正予算案が可決されました。これまでの総額は、国の定額給付金事業、子育て世帯、子育て一人親世帯への臨時給付金事業を除き815億円。第5弾ではインフルエンザの流行期に備えた取り組みも盛り込んでいます。

決算特別委員会でも追求!
今後も継続して取り組みます

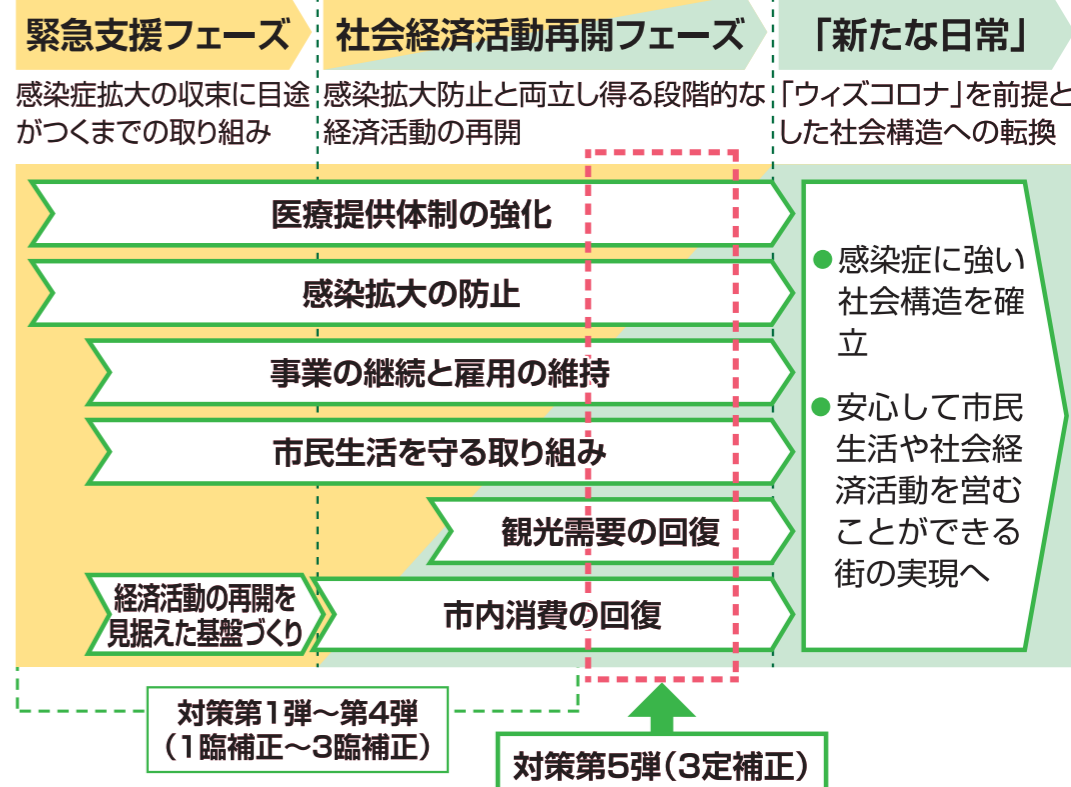


これまでの補正予算

- 第1回臨時議会 4月3日議決【総額222億3,000万円】
 - 医療提供体制の強化と感染拡大の防止【4億7,200万円】
 - 経済への影響を緩和するためのセーフティネットの拡充【217億5,800万円】
- 第2回臨時議会 5月1日議決【総額2,103億5,300万円】
 - 必要な医療の提供と感染拡大の防止【29億円】
 - 事業の継続と雇用の維持、生活を支えるために【2,073億円】
- 第2回定例会市議会 6月10日議決【総額378億円】
 - 必要な医療の提供と感染拡大の防止【36億円】
 - 事業の継続と雇用の維持、生活を支えるために【328億円】
 - 経済活動の回復のために【15億円】
- 第3回臨時議会 7月3日議決【総額117億円】
 - 必要な医療の提供と感染拡大の防止【68億円】
 - 事業の継続と雇用の維持、生活を支えるために【10億円】
 - 経済活動の回復のために【39億円】

各フェーズにおける対応イメージ

新北海道スタイルの実践



(仮称)第2児童相談所が白石区に新設

児童相談所の機能強化のため、(仮称)第2児童相談所が旧水道局白石庁舎跡地(本郷通3丁目北)に建設されることが検討されています。

児童虐待防止に向け全庁一丸となって取り組むとの方針が示され、今後第2児童相談所の設置や区を単位とした相談支援体制の在り方が検討されていくこととなります。

10月中旬に住民説明会が行われます。



※詳細は
公報さっぽろ10月号に
掲載されています。

避難時の持ち出し品

- 飲料水・食料品
- モバイルバッテリー
- 貴重品
- 救急用品
- 衣類
- 洗面用具
- 懐中電灯
- マウスウォッシュ
- 携帯ラジオ
- 防寒グッズ
- マスク
- 予備電池
- 生理用品
- 消毒液
- 常備薬
- ポリ袋
- 体温計



見直してみませんか?

全国的に災害が発生しています。今一度ハザードマップで避難場所の確認、非常持ち出し品、自宅で数日間過ごせる備蓄品を確認してください。

インターネットでご覧ください!

本会議と特別委員会の発言の様子はパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。ぜひご視聴ください。

パソコンからは

札幌市議会ホームページ内の
インターネット中継のバナーから



2020年度 所属委員会

- 総務委員会(副委員長)
 - 大都市税財政制度・災害対策調査特別委員会(理事)
 - 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会(9月4日臨時議会を経て設置)
- ※委員を兼任

スマートフォンからは

QRコードから

本会議中継は
こちら→



委員会中継は
こちら→



うるしはら直子 なおこ 政務事務所

〒003-0832 札幌市白石区北郷2条2丁目2-12

TEL 011-799-1771 FAX 011-799-1715

E-mail : info@urushihara-naoko.main.jp

URL : http://urushihara-naoko.main.jp

ホームページ

